

インフルエンザ・感染性胃腸炎の 予防と感染・発症時の対応について

国立中央青少年交流の家 2013/11 作成（引率者用）

健康管理の徹底

- 参加者の健康状態を常に把握してください。
- 特に、出発前や交流の家到着時の状態を把握してください。
- 元気がない、顔が赤い、食欲がないなど少しでも普段と異なる様子が見られるときは、すぐに本人の状態を確認してください。

「手洗い」と「うがい」の徹底

- 「手洗い」と「うがい」の徹底をお願いします。特に、屋外から戻った時や食事前には確実に実施させてください。
- 「うがい」用の紙コップをレストラン売店で販売しています。

吐き気や腹痛、発熱があったとき

- 必ず交流の家職員に連絡してください。
- 我慢していて、急に嘔吐や下痢をする場合がありますので注意してください。

嘔吐や下痢があったとき

- 時間を問わず、すぐに交流の家職員に連絡してください。
- 現場に嘔吐物等がある場合は、交流の家職員が到着するまでの間、二次感染防止のため、できる限り現場に人を近づけないよう注意してください。
- 嘔吐物等の処理や消毒は、交流の家職員が行います（レストラン内は、レストラン職員が対応します）ので、嘔吐物等には決して触れないでください。

その他

- 医療機関への連絡と対応は交流の家職員が行います。送迎と付添いは利用団体の皆様をお願いします。

連絡先

- 交流の家事務室：内線 215・216（朝 6:00～深夜 0:00）
- 交流の家当直室：内線 224（深夜 0:00～朝 6:00）